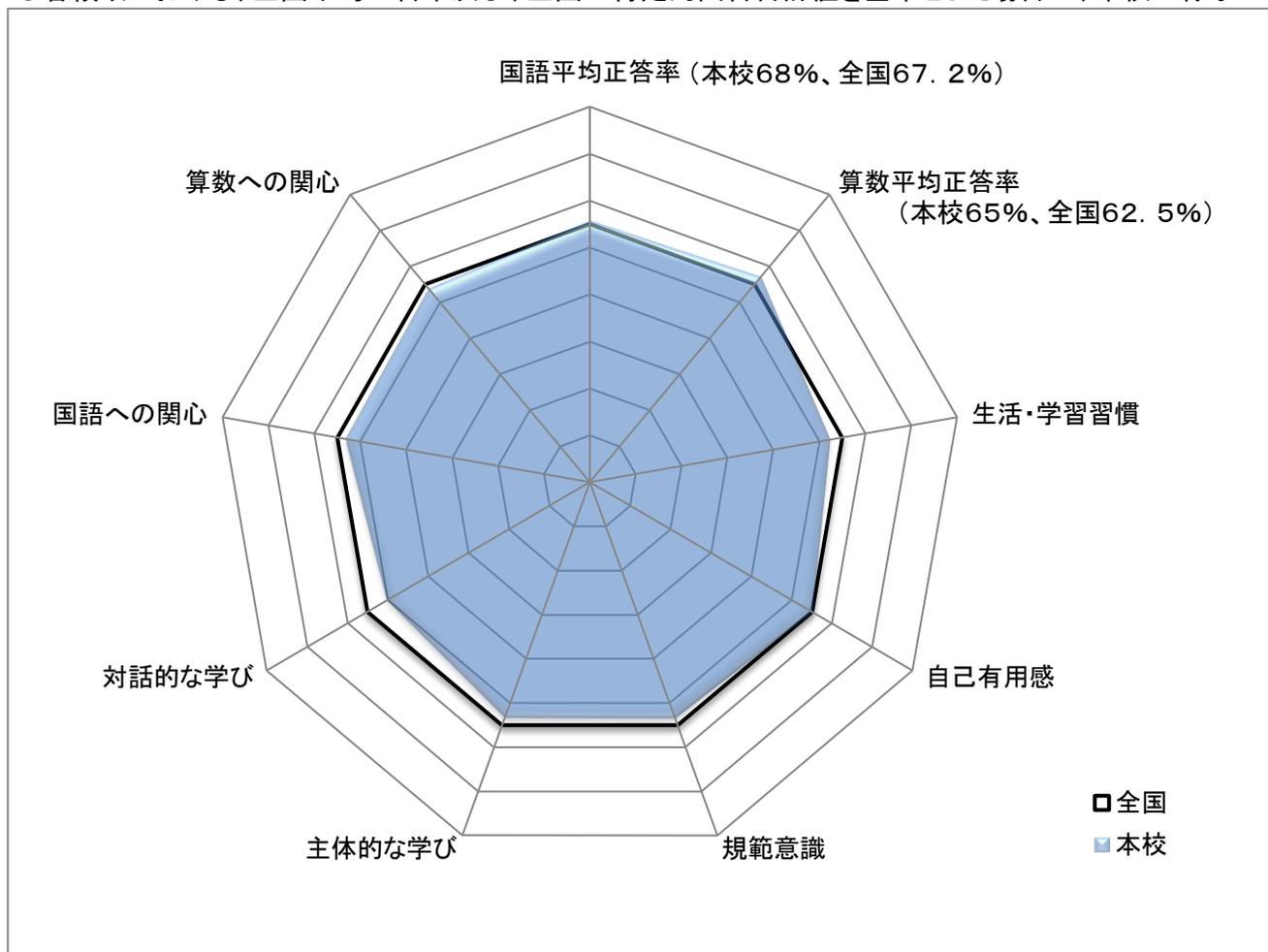


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子



《現状把握》

- ・国語の平均正答率は、全国平均正答率を0.8%、算数の平均正答率は、全国平均正答率を2.5%上回っている。
- ・国語は、「話すこと・聞くこと」の領域で3.5%、全国平均正答率を上回っている。一方で「読むこと」の領域が全国平均を2.0%下回っている。記述式問題は全国平均正答率と同程度である。
- ・算数は、「図形」の領域が全国平均正答率より6.5%上回っている。記述式問題では、全国平均正答率を5.1%上回っているが、無解答率が高い問題もある。

《授業改善のポイント》

- 【国語】
- ・ 叙述を基に文章の内容を読み取り、理由を明確にして自分の考えをもつように指導する。
 - ・ 導入を工夫し、児童が意欲をもち自ら考え、深めようとする授業展開を計画、実践する。
 - ・ 対話的な学びとなるようにグループで意見を交流する時間や学級会での話し合いを意図的に設定し、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるように指導する。
- 【算数】
- ・ 図や数直線などを活用して自分の考えをノートに書く場を設定したり、説明する機会を増やしたりして、言語活動の充実を図り思考力や表現力を高めていく。
 - ・ 基礎を固めるために補充プリントに取り組みせたり、学習用タブレット端末でのドリル学習をより一層活用したりしていく。

《チャートの特徴》

- ・ 国語の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ・ 算数の平均正答率は、全国平均を上回っている。
- ・ 国語や算数への関心は、全国平均をやや下回っている。
- ・ 自己有用感は全国平均と同程度である。
- ・ 対話的な学び、生活・学習習慣は、全国平均をやや下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・ 学習用タブレット端末を活用した家庭学習に取り組ませる。適切な使い方ができるように、家庭での使用ルールの確認を要請する。
- ・ 規則正しい生活を心がけ、計画的な学習習慣を確立できるよう家庭にも協力を要請する。
- ・ 学習の内容等を知らせ、家庭や地域でも活用したり関連付けたりできるように呼びかける。